

件名	柏崎刈羽原子力発電所6号機タービン建屋内での水漏れについて
通報日	平成19年4月25日
概要	<p>当所6号機（改良型沸騰水型、定格出力135万6千キロワット）は、定格熱出力一定運転中ですが、本日午後2時26分頃、タービン建屋地下2階復水器室において、床面に水溜まりがあることをパトロール中の当社社員が発見いたしました。</p> <p>現場を確認したところ、タービン建屋1階復水器室内にある配管*に取り付けている保温材の隙間より水が滴下し、グレーチング（金網状の床）を通じて地下2階床面に溜まっていたことがわかりました。</p> <p>発見した際に床面に溜まっていた水の量は約4リットル、放射エネルギーは約1.2×10^4ベクレルでした。</p> <p>現在も微少な漏えいはありますが、液体廃棄物処理系で適切に処理しております。今後、漏えい箇所を調査いたします。</p> <p>これによる外部への放射能の影響はありません。</p> <p>*：配管 給水ポンプの軸封部のシール水を排水するための配管（外径：約10cm）であり、第3給水加熱器に接続されている。</p> <p>（平成19年4月25日 プレス発表内容） http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2007/pdf/19042501.pdf</p>